

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
 コード番号 6488 URL <http://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 052-881-7146

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,409	2.2	△11	—	365	△11.5	349	—
24年3月期第3四半期	4,315	△2.6	337	△8.1	412	5.2	△68	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 439百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △231百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	53.54	—
24年3月期第3四半期	△10.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,576	8,415	79.6	1,294.06
24年3月期	10,014	8,145	81.3	1,243.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,415百万円 24年3月期 8,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	5.3	60	△83.0	410	△28.1	380	△0.6	58.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付書類]P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,967,473 株	24年3月期	6,967,473 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	464,443 株	24年3月期	414,743 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,525,851 株	24年3月期3Q	6,552,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災以降緩やかに持ち直しつつあった回復基調が急速に勢いを失い、近隣諸国との関係悪化も一因とされる輸出の減少や、エコカー補助金終了等の影響による個人消費の減少など、内需、外需ともに厳しい足どりとなりました。設備関連におきましても、震災復興関連の投資は持続性があるものの、不安定な世界経済情勢から経営環境が改善しないこともあり、民間設備投資には積極的な動きがなく、厳しい状況が続いております。中国、米国をはじめとする海外経済に回復の動きもあり、輸出については持ち直しの兆しもあるものの、内需におきましては今後復興需要が一巡していくなか、政権交代に伴い景気対策が徐々に本格化していくと見込まれますが、先行きについては未だ不透明感の強い状況が継続すると思われま

す。当社グループにおきましても、前年度洪水により被災した子会社ヨシタケ・ワークス・タイランド株式会社（以下YWT）において、新工場の建設も行っていくなか、生産体制の復旧にも進展が見られ売上については急速に回復へと向かいつつありますが、日本国内での代替生産等、被災時に整備した緊急体制も完全には収束しておらず、経営環境としては依然厳しさを残しております。今後につきましては、YWT新工場におきまして生産活動も開始していくなか、生産および販売体制の完全復旧を見込んでおりますものの、先述いたしました外的な要因もあり先行きについては予断を許さない状況となっております。

このような状況のもと、第2四半期連結累計期間に続き厳しい生産、販売体制にあるなか、積極的な提案営業を展開しました結果、連結売上高は44億9百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

損益面では、YWTでの復旧が本格化するなか、生産体制の見直し、再構築を行ってまいりましたが、代替生産、YWT生産基盤の復旧活動に伴うコスト増加の影響もあり経常利益は3億65百万円（前年同期比11.5%減）となりました。四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に計上した災害による損失が当第3四半期連結累計期間には計上がなかったこともあり3億49百万円（前年同期は四半期純損失68百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は105億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億61百万円増加しました。主にYWTの生産体制の復旧に伴い在庫金額が4億90百万円増加したことおよび売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が1億60百万円増加したことなどによります。

負債は21億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加しました。主に賞与引当金が70百万円減少し未払法人税等が33百万円減少したものの、カワキ計測工業株式会社における長期借入金2億41百万円および1年内返済予定の長期借入金77百万円を計上したことなどによります。

純資産は84億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加しました。主に四半期純利益を3億49百万円計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通り推移しておりますので、平成24年10月26日付「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,607,073	1,521,042
受取手形及び売掛金	1,802,837	1,962,854
有価証券	95,000	200,380
商品及び製品	434,692	619,938
仕掛品	443,053	559,135
原材料及び貯蔵品	685,929	874,713
その他	508,034	152,314
流動資産合計	6,576,621	5,890,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,947,541	1,977,316
減価償却累計額	△1,473,998	△1,523,171
建物及び構築物（純額）	473,542	454,145
機械装置及び運搬具	1,841,343	2,232,293
減価償却累計額	△1,377,232	△1,447,151
機械装置及び運搬具（純額）	464,111	785,142
土地	464,816	829,593
リース資産	82,783	80,864
減価償却累計額	△42,957	△51,930
リース資産（純額）	39,825	28,933
その他	925,673	1,437,479
減価償却累計額	△783,506	△810,952
その他（純額）	142,166	626,527
有形固定資産合計	1,584,462	2,724,341
無形固定資産		
のれん	9,729	5,559
その他	38,987	28,453
無形固定資産合計	48,717	34,012
投資その他の資産		
投資有価証券	1,436,313	1,561,631
その他	377,151	373,118
貸倒引当金	△8,661	△7,055
投資その他の資産合計	1,804,804	1,927,694
固定資産合計	3,437,984	4,686,049
資産合計	10,014,605	10,576,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,739	770,338
1年内返済予定の長期借入金	—	77,760
未払法人税等	54,243	21,031
賞与引当金	145,213	74,714
その他	356,444	344,769
流動負債合計	1,253,640	1,288,613
固定負債		
長期借入金	—	241,160
リース債務	27,543	16,136
退職給付引当金	303,598	326,431
役員退職慰労引当金	256,793	261,105
資産除去債務	27,546	27,671
固定負債合計	615,480	872,505
負債合計	1,869,120	2,161,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	4,357,936	4,569,730
自己株式	△333,858	△365,928
株主資本合計	8,590,657	8,770,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,202	59,454
繰延ヘッジ損益	4,231	—
為替換算調整勘定	△478,607	△414,527
その他の包括利益累計額合計	△445,173	△355,073
純資産合計	8,145,484	8,415,308
負債純資産合計	10,014,605	10,576,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,315,542	4,409,987
売上原価	2,489,530	2,856,526
売上総利益	1,826,012	1,553,461
販売費及び一般管理費	1,488,971	1,564,771
営業利益又は営業損失(△)	337,040	△11,310
営業外収益		
受取利息	21,596	32,308
受取配当金	2,325	2,653
持分法による投資利益	98,338	232,979
為替差益	—	94,616
その他	13,996	36,504
営業外収益合計	136,256	399,062
営業外費用		
支払利息	817	2,295
売上割引	8,003	7,851
為替差損	48,988	—
固定資産除売却損	—	5,715
その他	2,490	6,373
営業外費用合計	60,300	22,235
経常利益	412,996	365,516
特別利益		
受取保険金	—	85,552
特別利益合計	—	85,552
特別損失		
固定資産除売却損	1,258	—
固定資産評価損	653	—
災害による損失	290,757	—
災害損失引当金繰入額	158,980	—
特別損失合計	451,649	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,652	451,069
法人税、住民税及び事業税	93,097	76,772
法人税等調整額	△62,936	24,895
法人税等合計	30,160	101,667
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,813	349,401
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,813	349,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△68,813	349,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,410	30,251
繰延ヘッジ損益	△22,530	△4,231
為替換算調整勘定	△111,095	58,645
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,701	5,434
その他の包括利益合計	△162,737	90,099
四半期包括利益	△231,550	439,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231,550	439,501
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月22日開催の取締役会において、市場買付けの方法により自己株式を取得することを決議し普通株式49,700株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が32,070千円増加しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	合計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	4,290,219	25,322	4,315,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,842	464,732	476,574
計	4,302,061	490,054	4,792,116
セグメント利益	283,159	42,094	325,254

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	325,254
のれんの償却額	△4,169
棚卸資産の調整額	15,956
四半期連結損益計算書の営業利益	337,040

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	合計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	4,399,499	10,488	4,409,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,433	463,263	471,696
計	4,407,932	473,751	4,881,684
セグメント利益又は損失 (△)	116,198	△141,810	△25,612

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	△25,612
のれんの償却額	△4,169
棚卸資産の調整額	18,471
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△11,310